

# 鳥取県中部地震

# 鳥取民医連・鳥取医療生協 合同対策本部 ニュース

2016年10月28日

vol.⑦

発行元：鳥取民医連・鳥取医療生協  
鳥取中部地震合同対策本部  
連絡先：0857-24-6161

27日 18時現在  
被害・避難状況

◆人的被害 19人(重傷3、軽傷16) ◆住民避難 470人、  
◆住宅被害 2608棟(全壊2、半壊4、一部破損2602) ◆公共土木施設被害 101カ所

## 夜の避難所訪問 「話を聞いてあげることしかできないけど・・・それが一番大切」



中部地震発生から一週間が経過した28日(金)。看護師4名、検査技師2名をはじめとする11名が、2隊に分かれ倉吉市、湯梨浜町などの避難所3ヶ所を訪問しました。一つの避難所はそこにいた方がすべて独居の方で、取り残されつつある独居老人たちの姿がありました。避難所の閉鎖がどんどん決定されている中、今後の震災対策の大きな課題となっています。

また、ある高齢の方は、訪問者が看護師だと気づくと、「お嫁さんが看護師で安心して働きに行けるように避難所に来ている」ととつとつと語ってくれました。最初は高かった血圧も、お話をするうちに気分がほぐれたのか、話し終わった後はすっかり下がって表情も穏やかに。何もしてあげられなくても、寄り添い、想いを聞いてあげるだけでもとても大切なケアであることを感じさせられました。

別の避難所を訪問した際にお会いした家族が、閉鎖に伴い移っておられ、偶然、今回、再会したケースもありました。その避難所ももうすぐ閉鎖が決定しており、不安の残る再会となりました。



↑「感謝の言葉とともに元気をいただきました」「貴重な体験でした」が一番多い感想の訪問隊のみなさん

## 鳥取・気高で！ 組合員安否確認

## 電話掛けに地域役員さん大奮闘



↑電話掛けする平尾理事

緊急理事会での決定と組合活動委員会での討議を受け、昨日に続き、本日も現地での訪問行動とは別に、電話掛けによる組合員さん安否確認の電話掛けで奮闘が始まっています。

気高地域では、理事・支部役員など8名で鹿野温泉病院から電話掛けを行いました。226件と対話しました。集落唯一の生活道路に亀裂が入り、不安が広がっている地域や、住宅被害が大きく、先々へ不安を持っている様子が伝わってきました。

## 週末行動に向け、 炊き出し準備に 組合員さん出動！



倉吉では、理事と組合員さん、職員で、  
週末行動に向け地図落とし完了！  
会場準備も完了！！



# いよいよ、全国からの支援も迎え、明日、週末集中行動！！